

やまがし 広報

No. 768

2025年(令和7年)

4.1

1975年(昭和50年)4.1創刊



旅立ちを前に…

4月は旅立ちの季節です。

長く遠い北帰行を前に、たくさんの白鳥さんたちが
村内の田んぼに降り立っていました。

みんなが主役の村づくり

未来に希望を持って暮らせるように

令和7年度

施政方針説明



3月6日、村議会3月定例会議の初日、加藤弘村長が令和7年度の施政方針説明で、村政運営の基本方針と主要事業について述べました。

全文を紹介します。

関川村議会3月定例会議に際し、令和7年度の各会計予算案をはじめとした諸議案の審議をお願いするにあたり、村政運営に臨む所信の一端と施策の概要を述べ、議員各位並びに村民の皆様にご理解、ご協力を賜りたいと存じます。

人口減少や人口構造の変化、情報化の進展など、私たちを取り巻く環境は、目まぐるしく進展しています。加えて、コロナ禍が一定の落ち着きを見せたものの、不安定な国際情勢に起因するエネルギー価格や物価の高騰、円安の進行など、これまでに経験したことのない難局に直面しています。

村では、こうした課題とともに、村独自の課題にもきめ細やかに対応し、住民の皆さんから支持される、将来に希望の持てる村づく

りを進めてまいります。

はじめに、喫緊の課題への対応について、説明いたします。

〈物価高対策〉

はじめに、物価高対策についてですが、今ほど述べましたように、エネルギー・食糧等の価格の高騰は、村民生活や地域経済に大きな影響を与えているところです。村としては、特に影響の大きい低所得者世帯や事業者等に対する支援措置を、令和6年度補正予算において講じてきたところですが、新年度においても、物価高が村民・村内経済に与える影響を注視し、必要な対策を講じて参ります。

〈令和4年8月豪雨災害の対応〉

次に、令和4年8月の豪雨災害への対応についてですが、被災した村の施設の復旧につきましては、概ね完了することができました。

今後の治水対策としては、特に甚大な被害を受けた高田地区では、前川・太田沢川の流域を特定都市河川に指定いただいて、流域治水



〈防災力の強化〉

はじめに、住みよい暮らしのための取り組み、安全安心な暮らしの確保についてです。

〈住みよい暮らしのために〉

令和7年度は、「第6次関川村総合計画・総合戦略」計画の最終年度にあたります。それでは、令和7年度の主な取り組みにつきまして、この計画区分に沿ってご説明いたします。

の考えのもとで、河川管理者である県と調整を図りながら、今後の治水対策を進めて参ります。関係する流域の皆様にはご理解いただきますようお願いいたします。

湯沢地区においては、砂防ダム建設に向けて国の調査が行われており、そのほか土砂災害対策、浸水被害の軽減対策が必要な地区につきましては、国や県と連携を図りながら取り組んでいます。

近年、頻発化・激甚化する豪雨の影響により、全国各地で想定を超える浸水害が多発しており、日頃からの防災への備えや円滑・迅速な避難の重要性を改めて感じているところです。防災訓練を

通して、自助、共助、公助それぞれの役割を再認識する機会といたします。

洪水ハザードマップにつきましては、荒川・大石川に加え、新たに女川・鍬江沢川等荒川水系の流域版洪水ハザードマップを作成し、関係する集落に配布して防災対策に役立てて参ります。

防災無線につきましては、更新時期を迎えており、現在全戸配布している個別受信機はタブレット型端末に入れ替えます。災害発生時に村が発信する防災情報を迅速かつ正確に入手できるように、操作方法を村民の皆さまにしていねいに説明しながら機器の更新を進めて参ります。

〈交通対策〉

次に、交通対策についてですが、米坂線の復旧につきましては、JR、新潟・山形両県、沿線自治体の間で協議を進めているところです。

しかし、復旧費用の負担に加え、人口減少や施設の老朽化が進む中、復旧後の多額の維持・運営費の負担が課題となっています。被災から3年目となりますので、新潟県としっかり連携し、具体的な方向性を見出せるよう努めて参ります。

路線バスの運行につきましては、バス会社の運転員不足によって、これまでどおりの運行が難しくなったため、大幅な見直しをすることとなりました。

女川線・川北線はバス会社へ運行委託を行い、バス路線を維持いたします。七ヶ谷線・霧出線・鍬江沢線につきましては、デマンドタクシー「えぶり号」を定時便として運行し、バスの代替といたします。

また、「えぶり号」の充実を図り、村の公共交通

通としての利便性を高めて参ります。

〈防犯対策〉

また、近年高齢者や未成年を標的とした犯罪が多様化しております。住民が犯罪に巻き込まれないよう、引き続き啓発活動などに努めて参ります。

〈道の駅「関川」〉

次に、道の駅についてです。

道の駅「関川」は、温泉施設のほか、運動施設や文化財などが隣接する他に類のない恵まれた立地環境にあり、大型遊具の完成も相まって、昨年は大勢の家族連れなどで賑わいました。

村民から要望の多いコンビニの出店については、これまで誘致を進めて参りましたが、このたび、ローソンさんが出店することとなり、詳細を調整しております。これにより道の駅は更なる集客が見込まれることから、アチエーロについては解体し、駐車場用地として活用する予定であります。

〈地域を担う産業の振興のために〉

〈農林業の振興〉

次に、地域を担う産業の振興のための取り組みです。

〈農林業の振興〉

はじめに、村の基幹産業である農業についてです。

現在進められている女川地区ほ場整備事業や

新堀用水路改修事業の早期完成、更に鮎谷、大島沢田地区の新規ほ場整備事業などについて、土地改良区と連携して進めて参ります。

今後10年間の地域農業の設計図となる地域計画に基づいて、関係機関と連携し、将来に向けた地域での検討と実践活動を支援して参ります。とりわけ、本村農業の中心となる米生産者の確保・育成のため、生産性の向上や継続的な営農体制の構築に向けた取り組みを農家や地域の皆さんと対話しながら、進めていきたいと考えております。

また、東京で行列のできるおにぎり専門店「ほんご」さんは、関川村のコシヒカリをお使いいただいております。そのような縁で「ほんご」さんの協力を得て、都内で人気のおにぎり講座を開催するほか、「ほんご」さんの店舗をお借りして、関川村をPRしたいと考えております。

こうした取り組みを通じ、関川村産コシヒカリのブランド力向上、更にはふるさと納税の促進につなげていきたいと考えています。

次に、林業振興についてです。

村では、森林経営計画に基づき、村が事業主体となって森林林業の施策に取り組むとともに、森林林業分野におけるJ-クレジット制度への取り組みを進めるほか、森林環境譲与税などの財源を有効に活用し、林業振興施策を推進して参ります。

〈観光の振興〉

次に、観光振興についてです。

観光施設への入込数は、コロナ禍前の水準まで緩やかではありますが戻りつつあります。



「観光振興計画」に基づき、関係団体等とも連携を図りながら、継続的に観光施策を推進し、賑わいのある村づくりの実現に向けて取り組んで参ります。

また、観光振興にはインバウンド需要の取り

込みが欠かせない時代となってきました。民間からの外部人材を招へいし、渡辺邸をはじめとした村の魅力をインバウンド需要につなげる取り組みも展開していきたいと考えております。

〈商工業の振興・起業の促進〉

商工業の振興につきましては、引き続き商工会の運営を支援し、事業者の持続的発展につなげて参ります。また、インバウンド対策、キャッシュレス化、設備の省エネ化などに取り組む事業者を応援して参ります。

村内での起業については、昨年同様に、支援するとともに、すでに起業した事業者が、地域に根ざした事業を安心して継続できるよう、商工会とも連携しながらフォローアップにも力を入れて参ります。

〈脱炭素事業〉

脱炭素についてですが、国や新潟県では、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ

口を目指した取り組みを進めております。村でも、豊かな自然や資源を活用し、地域活性化を念頭におきながら、脱炭素に資する事業を進めているところです。

現在、村民会館などの公共施設の照明、空調設備の省エネ化をはじめ、太陽光発電、小型風力発電設備を順次整備しております。

今後は、これら再エネ電源の有効活用と災害時における安定的な電力確保のために、自営線や蓄電池の設置などをすすめて、分散型電源によるエネルギーの地産地消を進めて参ります。

なお、木質バイオマス発電など未着手の事業については、事業化の熟度が高まった段階で、補正予算に計上し、審議をお願いしたいと思っております。

〈交流から定住へ促すために〉

次に、交流から定住へ促すための取り組みです。

〈都市との交流、移住・定住施策〉

人口減少が進む中、地域活力の維持や地域経済の活性化を図るためには、交流人口や関係人口の拡大が極めて重要です。引き続きSNSなどにより、村の情報や魅力を積極的に発信するとともに、空き家マッチングツアーを通して定住への取り組みを進めて参ります。

旧大島保育園では、本年4月から通信制高校「令和関谷学園」が開校される運びとなりました。村としては、これを都市との交流の機会と捉え、令和関谷学園と連携を図りながら都市との交流や移住促進の取り組みを進めて参ります。

〈空き家バンク〉

空き家バンクについては、平成28年から61件がバンクに登録され、30件が売買又は賃貸につながり、年々空き家の利用が増えています。今後も新規空き家の掘り起こしを進め、空き家バンクの充実・利用促進に取り組みます。

また、住宅としての活用が望めない空き家については、解体撤去を促し、防災・衛生・景観など周辺環境に悪影響を及ぼさないよう努めて参ります。

〈切れ目のない子育て支援のために〉

次に、切れ目のない子育て支援の取り組みです。

〈子育て家庭の応援〉

保育園につきましては、昨年度大島、下関両保育園を統合しました。統合後の「関川ないうる保育園」では、おむつの無償提供や完全給食などを実施し、保護者から好評を得ております。国や県でも、さまざまな子育て対策が検討されているところで、村としてもそれらの対策に柔軟に対応し、保育サービスの充実を図って参ります。

妊娠・出産・子育ての相談にはきめ細かに対応いたします。特に、妊婦とその家族が子育てを学ぶ機会を支援し、妊婦同士の交流にもつなげて参ります。

また、分娩が坂町病院に続き、村上総合病院も休止になり、分娩可能な医療機関が遠くなっ

たため、妊産婦の負担軽減を図るための支援を行います。

〈みんながいきいきと暮らせるために〉

次に、みんながいきいきと暮らせるための取り組みです。

〈健康づくり〉

今年度は、「第2次健康せきかわ21」の最終年度になります。そのため、これまでの取り組みについての評価を行い、国の「第3次健康日本21」を踏まえ、村の実情に沿った次期計画を策定いたします。

また、住民自らが健康づくりに取り組む機運の醸成を促すとともに、高血圧や糖尿病などの方に生活習慣改善の啓発を行い、慢性腎臓病などへの重症化予防に努めて参ります。



さらに、加齢

により心身が衰える「フレイル」

の状態になって

いる方を把握し、

リスクが高い方

には、介護分野

と連携するとともに、村民の傾向を分析し、今後の予防対策に活用して参ります。

〈検診・メンタルヘルス事業〉

特定健診やがん検診については、人口減少に伴う健診体制の確保と受診率向上のため、複数の検診を同時に受けられるよう、より受診しやすい体制づくりに努めます。

また、いきいきと生活するためには、体の健康だけではなく、心の健康も重要です。ストレスとの付き合い方や相談窓口の周知、気づきや見守りができるゲートキーパーを養成することにも、ハイリスク者に対しては、関係機関と連携し、支援を行って参ります。

〈介護保険制度〉

介護保険事業についてですが、介護認定率や給付費は、「関川村高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画」で示した範囲内で推移しております。

介護予防事業については、特に、男性参加者が少ないため、男性が参加しやすい取り組みを推進いたします。

今後も、介護予防をはじめとした高齢者の健康づくりに努めて参ります。

〈社会福祉協議会との連携〉

社会福祉協議会と連携した取り組みについてですが、村からの委託事業である重層的支援体制整備事業がスタートし、ひきこもりの相談については、関係機関とも連携し、様々な対策や支援を講じているところです。

また、認知症などにより判断能力の低下した方などを支援するため、新たに成年後見制度の体制整備を進め、重層的支援体制の整備とあわ

せて、包括的な相談支援体制の構築を図って参ります。

〈医療の確保〉

次に、医療の確保についてです。

医療を取り巻く環境は、少子高齢化による人口構造の変化、医師の偏在による医師不足や医師・医療従事者の働き方改革、そして医療ニーズの変化など、日本の医療は様々な課題を抱えております。村民がお世話になっている坂町病院や村上総合病院でも、こうした課題に対応すべく経営改革に取り組んでおります。

村としては、引き続き、様々な機会を通じて、この地域で持続可能な医療が確保されるよう努めて参ります。

〈ふるさとを愛し、誇る心の育成〉

ふるさとを愛する取り組みについてですが、少子化が進む中、いかに若者が村にとどまるか、



また戻ってくる
かが大きな課題
となっておりま
す。雇用の拡大
や産業振興はも
ちろんですが、
次代を担う子ど
もたちのふるさ
とを愛し、誇り
に思う心の育成
や、村内の起業
家などの生き方
を学ぶことも重
要です。

幼少期から村の豊かな自然、歴史や文化、産業に触れたり、村で活躍している大人との交流を深めるなど教科以外の学習活動も展開して参ります。

〈小・中学校〉

小・中学校においては、GIGAスクール構想に基づき整備した1人1台のタブレット端末を更新します。引き続き、授業で活用するとともに、毎日の家庭学習や臨時休業時等におけるオンライン授業でも活用して参ります。

社会に開かれた教育課程の実現のために、関川村地域学校協働本部の活動を充実させるとともに、少子化の現状を踏まえつつ、「保・小・中連携プログラム」の取組を継続・強化して参ります。

また、現在中学校が担っている部活動につきましては、指導者を確保したうえで、段階的に地域へ展開しているところです。国が進める令和8年度の休日の地域展開が円滑に行われるよう、引き続き取り組んで参ります。

関川中学校は、災害時の避難所に指定されていることもあり、教育環境の視点も含め、特別教室等への空調設備の整備について検討を進めます。

〈生涯学習〉

生涯学習では、スポーツや文化、家庭教育分野など幅広く事業を展開しているところでありますが、引き続き事業評価を行うとともに、村民ニーズに耳を傾けながら環境を整え、事業に取り組んで参ります。

〈無駄のない

行財政の運営のために〉

次に、無駄のない行財政の運営のための取り組みです。

〈職員の資質の向上〉

健全で安定的な行財政運営を行っていくためには、職員の職務遂行能力や意欲の向上、組織力の向上が重要です。研修への参加促進や職員を成長させる人事評価など、職場が活性化する取組を進めます。

また、現在職員だけでは対応が難しい分野については、地域おこし協力隊や集落支援員、民間人材派遣など、国の制度を活用し、外部人材を登用して参ります。

行政情報の発信については、広報紙やホームページに加え、SNSなど多様な媒体の活用が重要です。これまで、関川村への興味や感心が高まるよう、地域おこし協力隊の力を借りながら、情報発信を工夫してまいりました。引き続き、必要な改善を加えて質の高い情報発信に努めて参ります。

行政手続きの利便性の向上を図るため、オンライン申請、マイナンバーカードを活用した諸証明書のコンビニ交付にも引き続き取り組んで参ります。

〈ふるさと納税〉

ふるさと納税は、村の貴重な財源となるだけではなく、地域経済にも好影響を与えております。このため、寄付の拡大に向け、納税サイト



高瀬の旧
むつみ荘に
ついては、
大したもん
蛇の保管場
所として活
用し、観光
客等が外か
ら観覧でき
るよう工夫
することが
できないか
と考えてい
るところで
す。

の拡充や企業への訪問、返礼品レビューキャン
ペーンの実施などに取り組んで参りました。
こうした中、現在、村の一番の返礼品である
お米が品切れの状況にあり、お米の確保が急務
となっております。
今後は、新たにJ A北新潟とも連携を図りな
がら、ふるさと納税の取り組みを強化して参り
ます。

〈老朽・遊休施設対策〉

老朽・遊休施設対策についてです。
保育園の統合によって空き施設となった旧大
島保育園は、子供たちの居場所や、お弁当配達
事業の拠点として、旧女川保育園はお惣菜屋と
して、それぞれ利用されております。また、旧
安角小学校は、地域住民が活性化事業に積極的
に取り組んでおり、その活動拠点となっております。

〈〈令和7年度予算編成〉〉

そのほかにも、旧小学校をはじめとした遊休
施設が多数あります。鋭意工夫を凝らして施設
の有効利用に努めてまいります。老朽化によ
って利用の継続が難しい施設で緊急対応の必要
がある場合には施設の解体を含め、施設の整理
・統合を図って参ります。

新年度の予算編成についてですが、令和4年
8月豪雨の災害復旧工事の財源として多額の村
債を発行しており、その償還が本格的に始まり
ます。加えて物価高の影響も顕著に表れている
ほか、各種システム経費など固定費が年々増加
しております。こうした中であって、脱炭素事
業や防災タブレットの更新など村民の安全安心
対策や村の活性化に資する事業には、予算を確
保する一方、緊急性のない新規事業は極力抑制
し、既存の事務事業も有効性などの観点から見
直しを行いました。

今後とも、事業の更なる選択と集中、事務事
業の見直しを継続的に行うとともに、ふるさと
納税など歳入増の取り組みをしっかりと進め、持
続可能な行財政運営に努めて参ります。

上下水道事業については、人口減少が料金収
入の減に直結し、事業会計の経営に大きな影響
を及ぼしているほか、施設の老朽化への対応と
いう課題も残されています。

こうした現状を踏まえ、住民代表で構成する
検討委員会でも議論していただき、料金改定の
答申をいただいたところです。村としては、こ
の答申に基づき、10月を目途として料金改定を
行いたいと考えております。

〈〈おわりに〉〉

なお、上水道料金の改定は30年ぶり、下水道
料金の改定は初めてとなりますので、住民の皆
さんには、その必要性や具体的な改定内容につ
いてご理解いただけるよう、わかりやすく説明
して参ります。

人口減少は全国的に加速しており、当村にお
いても私が就任した2017年（平成29年）の
年末には5,822人だった人口が、昨年末に
は4,691人となり、7年間で1,131人
減少したこととなりました。残念ながらこの流
れを止めることは容易ではありません。こうし
た現実を見据えつつ、村の将来像をしっかりと描
きながら、行政を進めて参ります。

一方で、小さな村だからこそ、顔の見える行
政、みんなが主役のむらづくりを進めることが
可能だと思います。引き続き、村民の皆さんが
安心して未来に希望を持って暮らすことができ
るよう、村の先頭に立ち、全力で取り組んで参
ります。

村議会議員各位を始め、村民の皆さんのご理
解ご協力をお願いし、令和7年度の施政方針説
明とさせていただきます。



令和7年度 当初予算

防災力の強化と脱炭素社会の推進 安心して暮らし続けられる関川村の実現



一般会計の予算総額は64億300万円で前年比5億100万円の増となりました。

太陽光発電の設置や公共施設の省エネルギー化工事など脱炭素事業への取り組みを加速させるとともに、防災無線を現在の個別受信機からタブレット端末に更新するなど、防災力の強化に取り組めます。

そのほか、村内の公共交通の維持や、妊産婦の交通費支援など、人口減少社会でも安心して生活できる関川村を目指します。

■各会計の当初予算

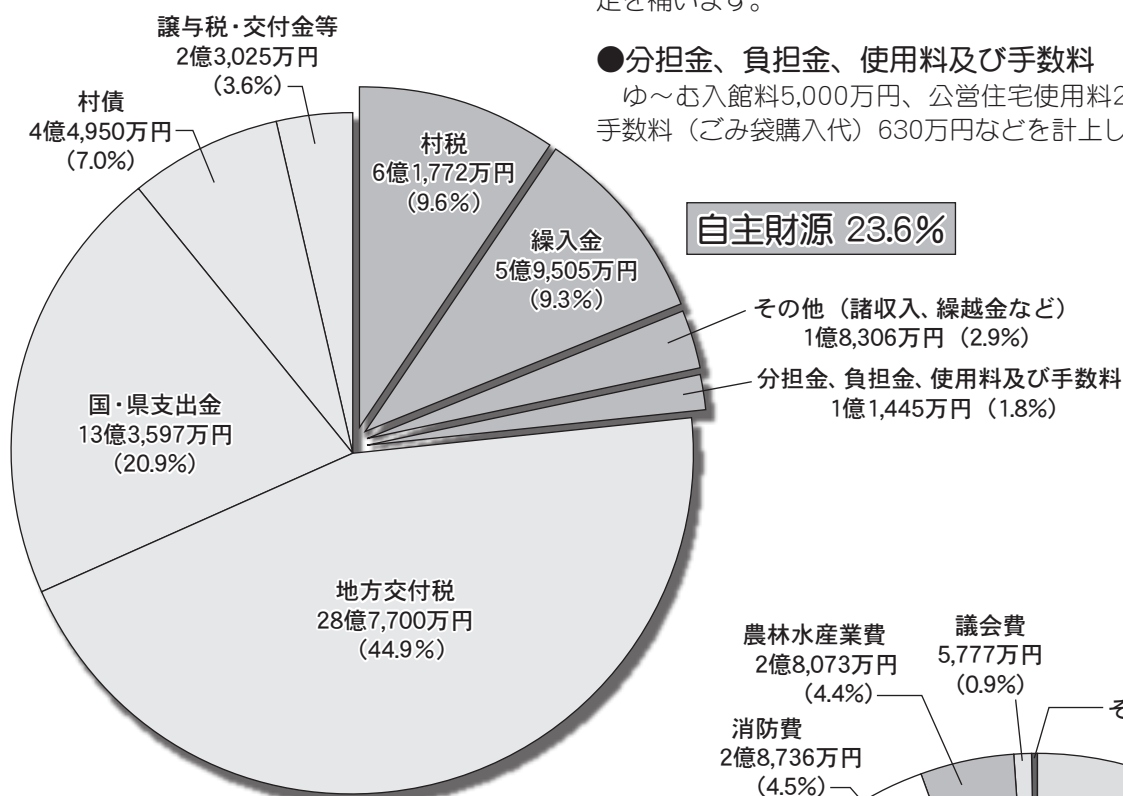
会 計 名		令和7年度	令和6年度	前年比	
				増減額	増減率
一般会計		64億 300万円	59億 200万円	5億100万円	8.5%
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	6億6,400万円	6億4,260万円	2,140万円	3.3%
	国民健康保険関川診療所特別会計	1億円	9,700万円	300万円	3.1%
	介護保険事業特別会計	9億2,090万円	9億1,880万円	210万円	0.2%
	後期高齢者医療特別会計	8,420万円	8,050万円	370万円	4.6%
	宅地等造成特別会計	10万円	10万円	0万円	0.0%
	村有温泉特別会計	220万円	380万円	▲160万円	▲42.1%

下水道事業会計		令和7年度	令和6年度	前年比	
				増減額	増減率
収益的収支	収 入	3億6,161万円	3億6,569万円	▲408万円	▲1.1%
	支 出	3億8,901万円	3億8,529万円	372万円	1.0%
資本的収支	収 入	2億9,697万円	2億5,589万円	4,108万円	16.1%
	支 出	3億8,910万円	3億4,690万円	4,220万円	12.2%

簡易水道事業会計		令和7年度	令和6年度	前年比	
				増減額	増減率
収益的収支	収 入	2億3,352万円	2億4,092万円	▲740万円	▲3.1%
	支 出	1億7,985万円	1億8,455万円	▲470万円	▲2.5%
資本的収支	収 入	9,300万円	2億 900万円	▲1億1,600万円	▲55.5%
	支 出	1億8,480万円	2億9,680万円	▲1億1,200万円	▲37.7%

歳入（一般会計）

64億300万円



自主財源 23.6%

依存財源 76.4%

●総務費

庁舎管理や広報せきかわの発行、地域振興、税金の徴収、住民票の発行などに使われます。

●民生費

保育園の運営や高齢者・障がい者などの福祉事業に使われます。

●土木費

橋りょう補修や消雪パイプ布設替、道路除雪、下水道事業会計への補助金などに使われます。

●公債費

借金返済に使われます。

●村税

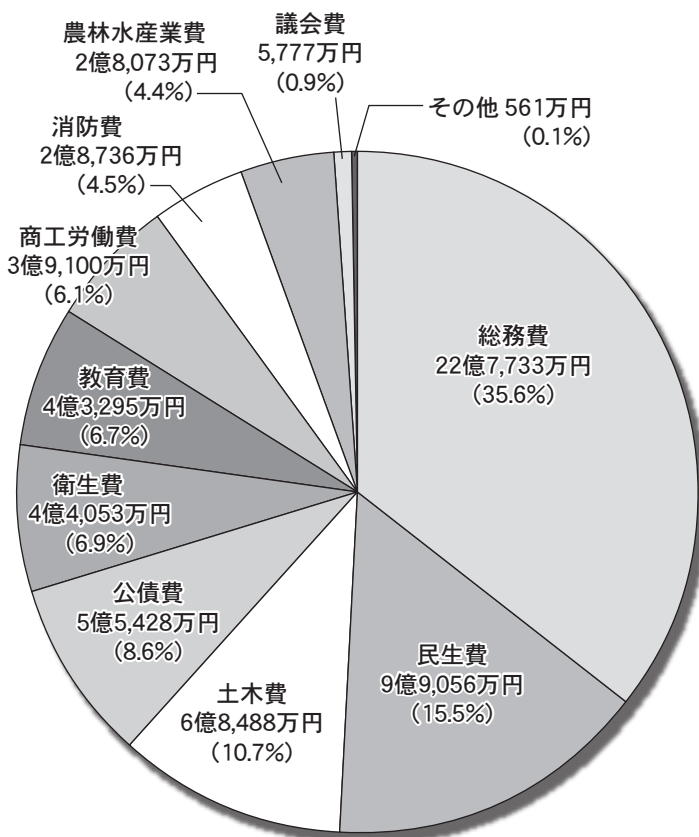
固定資産税は3億6,339万円、村民税は1億8,373万円、たばこ税は3,558万円、入湯税は1,238万円、軽自動車税は2,264万円を計上しています。

●繰入金

新規事業と人件費や物価高騰による財源不足が見込まれるため、財政調整基金（貯金）から2億1,400万円を取り崩すなど、財源不足を補います。

●分担金、負担金、使用料及び手数料

ゆ〜む入館料5,000万円、公営住宅使用料2,601万円、ごみ処理手数料（ごみ袋購入代）630万円などを計上しています。



歳出（一般会計）

64億300万円

●災害に強い村づくりへの取り組み

○防災力の強化

令和4年8月豪雨により被災した村施設の復旧は、令和6年度で概ね完了することができました。豪雨災害を踏まえた防災啓発事業に270万円を計上し、今後も平時からの防災意識の育成に取り組みます。そのほか、防災倉庫の備蓄品購入に151万円を計上。災害に強い村づくりに取り組みます。

防災無線更新事業に3億6,450万円を計上。各世帯に配布している防災無線の個別受信機を、タブレット型端末に入れ替え、迅速かつ正確に防災情報を発信します。

●脱炭素社会の推進

○再生可能エネルギーの活用

村の施設に太陽光発電設備を設置するなど、再生可能エネルギーを活用して脱炭素事業を推進するため、事業を行う「せきかわふるさとエネルギー株式会社」への補助金として2億500万円を計上。国の脱炭素先行地域に選定されているため、国からの補助金が主な財源です。

○省エネルギー化・電力の自給自足設備と防災力の強化

脱炭素事業の工事請負費として7億7,480万円を計上。役場庁舎やふれあいどくむなど公共施設の照明や空調を省エネルギー化するほか、昨年度に引き続き、役場と周辺の公共施設を結ぶ電力の自営線と蓄電池を整備する「地域マイクログリッド事業」に取り組みます。これにより、停電時には再生可能エネルギーを活用して発電した電力を施設間で融通することができま

●住みよい暮らしづくりのために

○公共交通の確保

路線バスはバス会社の運転員不足により、大幅な見直しを行うこととなりました。女川線、川北線のみバス会社へ運行を委託し、七ヶ谷線、霧出線、鉾江沢線についてはデマンドタクシー「えぶり号」を定時便として運行するため、4,674万円を計上しています。

○安心安全な暮らしの確保

村上市へ委託している常備消防運営委託に2億4,354万円を計上し、火災や救急搬送等に対応します。また、消防団員報酬として1,108万円を計上。一般消防団員の報酬の引き上げを行い、安定的な消防団員の確保に努めます。

防犯機能付き電話機購入補助金として50万円を計上。高齢者世帯を対象に、防犯機能付き電話の購入費の一部を補助することで、特殊詐欺被害の予防に取り組みます。

○道路インフラの維持

道路橋りょうの維持補修は、工事費として3,850万円を計上。国からの補助金を活用して老朽化した橋梁の補修工事等を行います。

除雪関係の費用としては、消雪パイプや消雪井戸の工事費に4,900万円、除雪経費に1億4,042万円、雪下ろし命綱固定アンカー設置費用助成に30万円、雪下ろし助成事業へ242万円を計上。冬季の安心安全を確保します。

○地域生活の充実

コミュニティ組織運営や、地域での敬老会など高齢者福祉事業への補助金として450万円、集落センターの施設改修やゴミステーションの更新への補助金に200

万円を計上しています。

また、村民の生活環境の向上と地域経済活性化を促進するため、個人住宅等を村内の施工業者によってリフォームする事業への助成に900万円を計上しています。

○生活環境衛生の確保

ごみ収集委託に4,992万円、村上市へのごみ処理場運営費委託に5,267万円を計上。そのほか、村上市の旧ごみ処理場の解体経費の村負担分として8,232万円を計上しています。

汚水処理では、村上市へのし尿処理運営費委託に2,205万円、合併処理浄化槽設置補助金に480万円、下水道事業会計補助金に3億1,500万円を計上し、住民の衛生環境を確保します。

そのほか、簡易水道事業会計補助金に7,000万円を計上し、安心安全な飲料水を供給します。

●地域を担う産業の振興のために

○産業振興

水田活用補助金940万円を計上。大豆や非主食用米などの特定の作物を栽培販売するなど一定の条件を満たした生産者を支援します。農業における担い手支援、地域全体の農業振興を図るための経費として、多面的機能支払交付金に7,900万円、中山間地直接支払交付金に3,100万円を計上。県営土地改良事業負担金には556万円を計上し、ほ場整備を進めます。

民間企業と連携した関川村産のコシヒカリのPRイベントの費用に190万円を計上。東京のおにぎり専門店と連携して関川村産コシヒカリの魅力を発信することで、ブランド力の向上と村へのふるさと納税を促進します。

○魅力ある観光地づくり

道の駅せきかわは、新たに整備した大型遊具やキッチンカーなど、連日多くの人で賑わっています。村ではより魅力的な道の駅となるよう、民間の店舗の誘致を進めています。あわせて、現在遊休施設となっている旧アチエー口店舗を解体し、駐車場として新たに整備する費用として5,000万円を計上しています。

また、大したもん蛇まつり実行委員会への補助金として700万円を計上。蛇年である今年度は、年明けから各集落に製作いただいた新しい大蛇でパレードを行います。

●交流から定住の促進

○人口減少への対策

空き家対策の補助金を460万円計上。空き家のリフォームや家財道具の撤去費用を助成します。そのほか、移住促進業務の委託料として50万円を計上。おおしま交流館（旧大島保育園）で活動している、るゝむカフェと連携した移住促進に取り組みます。

そのほか、移住支援事業に250万円を計上。子育て世代で県外から移住する世帯に対して、移住に係る費用を助成します。そのほか、結婚された方へ10万円を助成するほか、住宅賃貸料や引越費用などの補助金に200万円を計上。村への移住・定住を促進し、急速に進行する人口減少への対策を行います。

●切れ目のない子育て支援のために

○妊産婦への支援

妊産婦に対して交通費等を助成する、妊産婦支援交付金40万円を新たに計上。村上病院の分娩停止により、分娩可能な医療機関が遠方に限られる状況で、交通費や宿泊費などの妊産婦世帯の負担を軽減します。

そのほか、不妊・不育症治療補助金として57万円、妊産婦への医療費助成費用として61万円を計上。妊娠出産前後の支援をすることで、切れ目のない子育て支援を行います。

○子育て世帯の支援

子どもへの医療費助成に1,400万円を計上。通院時の医療費は1回530円、入院費の一部負担金は無料になるよう助成します。

給食費の助成に220万円計上。子ども3人以上の多子世帯に対し、保育園副食費を含む給食費を助成します。通学定期券の購入費助成に270万円計上。高校生、大学生、専門学生等の通学定期券の購入額の3割を助成します。

●みんながいいきと暮らせる環境づくりのために

○福祉環境の充実

重層的支援体制整備事業に5,631万円を計上。障害や不登校、引き込みりなど、多様な要因が合わさった複雑な問題に対応できる体制を作り、村民誰もが安心して生活できる環境を整えます。

成年後見制度の活用などの権利擁護の推進費として800万円を計上。社会福祉協議会等の関係者と連携して、意思表示が困難な方に対する支援を行います。

○教育環境の充実

小中学校で児童生徒が使用しているタブレットの更新費用に2,634万円を計上。引き続き一人1台端末を活用した授業や家庭学習を推進します。

関川中学校については、災害時には避難所の拠点となる施設のため、特別教室等の空調整備に向けた設計の委託に730万円を計上しています。

教員助手等の会計年度任用職員費用として3,610万円を計上。児童生徒が十分に学習できる体制を確保します。地域クラブ活動事業費に541万円を計上。運動部のほか、新たに文化部も地域移行を進めます。そのほか、外国語指導業務委託564万円を計上しています。

○健康づくり・生涯学習

特定健診の委託料に225万円、がん検診等の各種検診の委託料に806万円を計上。

また、心の健康の見守りができるゲートキーパーの養成も行い、心身ともに健康に生活できる体制を整えます。そのほか、健康増進施設コラッシェの事業費として1,190万円を計上。誰でも利用できる運動施設として、村民に親しまれる施設を目指します。

～使途が決められている収入～

○地方消費税交付金

消費税引き上げ分の交付金は「社会保障施策に要する経費」に充てることとされており、当村では予算額1億2,500万円のうち、7,250万円を社会福祉総務費、老人福祉総務費、心身障害者福祉費、児童措置費、予防費、母子衛生費の経費に充てます。

○入湯税

入湯税は1,238万円計上しており、観光振興対策や消防施設整備の経費に充てます。

○電源立地地域対策交付金

発電所の設置自治体の活性化等を目的に国から交付されるもので、鷹の巣発電所（水力発電）が対象となっています。交付される440万円は保育園管理費に充てます。

令和7年度の主な事業内容をお知らせします

議会費 予算額 5,777万円

議員報酬費 3,939万円

総務費 予算額 22億7,733万円

⑨ 防災無線更新工事請負費 3億3,000万円

⑨ 自治体標準化システム使用料 1,236万円

⑨ テレビ難視聴地域対策事業補助金 1,830万円

⑨ 防犯機能付電話機等購入補助金 50万円

⑨ 工事請負費（脱炭素事業分） 7億7,480万円

⑨ 地域公共交通活性化協議会補助金 4,674万円

⑨ 地域おこし協力隊業務委託料 2,000万円

⑨ 地域活性化起業人事業費 1,500万円

集落支援員業務委託料 1,236万円

空き家活用家財道具撤去補助金 60万円

空き家リフォーム補助金 400万円

大したもん蛇まつり補助金 700万円

通学用定期券購入補助金 270万円

結婚新生活支援事業補助金 200万円

民生費 予算額 9億9,056万円

⑨ 中核機関コーディネイト機能強化事業委託料 300万円

⑨ 地域生活支援事業委託料（法人後見支援） 227万円

重層の支援体制整備事業費 5,631万円

後期高齢者医療広域連合負担金 9,630万円

介護給付費訓練等給付費（心障） 1億3,520万円

介護保険会計繰出金 1億4,733万円

保育園管理費（職員給与含む） 1億9,996万円

児童手当給付費 5,860万円

衛生費 予算額 4億4,053万円

⑨ 妊産婦支援交付金 40万円

⑨ 指定ごみ袋製造等管理委託料 670万円

⑨ 工事請負費（保健センター） 220万円

⑨ 旧ごみ焼却施設解体等事業負担金 8,232万円

⑨ 予防接種委託料 2,184万円

ごみ処理運営費委託料 5,267万円

妊産婦医療費助成事業費 61万円

不妊・不育症治療補助金 57万円

医療費助成給付費（少子対策） 1,400万円

し尿処理運営費委託料 2,205万円

簡易水道事業会計補助金 7,000万円

農林水産業費 予算額 2億8,073万円

⑨ 森林所有者経営意向調査委託料 100万円

⑨ 農業振興地域整備計画基礎調査委託料 380万円

中山間地域等直接支払交付金 3,100万円

多面的機能支払交付金 7,900万円

女川地区ほ場整備事業負担金 538万円

資源循環の森整備事業補助金 650万円

商工労働費 予算額 3億9,100万円

⑨ 料理講座イベント企画委託料 190万円

⑨ アチェー口解体及び駐車場整備工事費 5,000万円

⑨ 村内店舗改修事業補助金 40万円

⑨ 関川村観光協会補助金 950万円

観光施設管理委託料 7,902万円

ゆ〜む管理委託料 7,510万円

土木費 予算額 6億8,488万円

⑨ 橋梁修繕補修設計委託料 1,500万円

⑨ 道路橋りょう整備費（消雪施設工事） 4,900万円

⑨ 道路橋りょう整備費（交通安全施設工事） 250万円

道路橋りょう維持費（工事費） 3,850万円

道路除雪対策費 1億4,042万円

橋梁長寿命化点検委託料 1,500万円

雪下ろし命綱固定アンカー設置補助金 30万円

下水道事業会計補助金 3億1,500万円

木造住宅耐震診断補助金 129万円

住宅改修事業補助金 900万円

消防費 予算額 2億8,736万円

⑨ 消防団員報酬 1,108万円

常備消防運営委託料 2億4,354万円

消火栓移設取替工事等負担金 300万円

教育費 予算額 4億3,295万円

⑨ 小中学校備品購入費（ICT機器） 2,634万円

⑨ 実施設計委託料（中学校費） 730万円

⑨ 発掘調査等委託料 1,500万円

⑨ 地域クラブ活動事業費 541万円

給食費補助金（多子世帯） 220万円

外国語指導業務委託料 564万円

せきかわ歴史とみちの館管理費 1,267万円

健康増進施設（コラッシュ）管理費 1,190万円

公債費 予算額 5億5,428万円

元金償還金 5億3,378万円

利子償還金（一時借入金利子含む） 2,050万円

その他 予算額 561万円

災害復旧費 61万円

予備費 500万円

荒川水系前川流域、太田沢川流域を 「特定都市河川」および「特定都市河川流域」に指定しました

問：村上地域振興局地域整備部（☎0254-52-7955）・新潟県土木部河川管理課（☎025-280-5412）

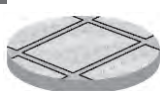
前川、太田沢川では、令和4年8月の大雨により甚大な被害が発生したことや、今後の気候変動により豪雨の激甚化・頻発化が予想されることから、流域のあらゆる関係者の協働による「流域治水」の本格的実践に向け、前川・太田沢川流域を「特定都市河川」および「特定都市河川流域」に指定し、浸水被害の軽減を図ります。

指定に伴い特定都市河川流域で
1,000m²以上の「雨水浸透阻害行為」
を行う際には、**流出抑制のため
の許可**が必要です。

雨水浸透阻害行為の例 ※例は一部です。

○「宅地等」にするために行う土地の形質の変更

耕地



宅地



雨水貯留浸透施設の例

■雨水貯留槽

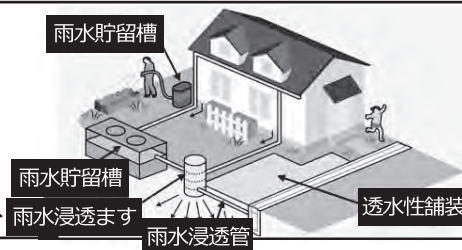
地下に雨水を貯留する施設

■透水性舗装

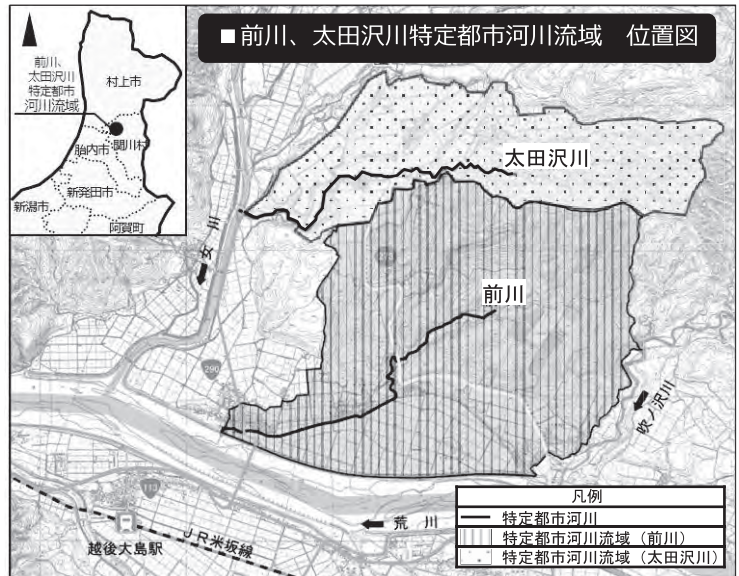
雨水が地中に浸透しやすい舗装

■雨水浸透ます

雨水が浸透しやすい材料で作られたマス



詳細については、
新潟県土木部河川管
理課のホームページ
にてご確認ください。



議員報酬は引き上げ、特別職給与は据え置き

(単位：円)

令和7年度から、議員報酬を引き上げ
ます。

特別職報酬等審議会（村内の公共団体の
代表者などで構成）で審議をお願いし
たところ、議員報酬について他団体と比
較すると低額であることなどから、一律
1万5千円引き上げるべきとの答申を受
けました。

これを受けて3月定例議会に諮り、条
例改正が承認されたため、4月から改定
するものです。

なお、特別職の給与は据え置きします。

(月 額)	改定前	改定後	引上額
村 長	650,000	650,000	0
副村長	536,000	536,000	0
教育長	495,000	495,000	0
議 長	263,000	278,000	15,000
副議長	194,000	209,000	15,000
常任委員長	184,000	199,000	15,000
議会運営委員長	184,000	199,000	15,000
議 員	174,000	189,000	15,000

春の人事異動

*敬称略

村職員

【異動】（4月1日付）

※（ ）内は前職

■政策監

▽野本 誠

（総務課長兼務を解く）

■総務課

▽課長 渡邊 浩一

兼・選挙管理委員会書記長

▽主幹 人事財政班長

▽主幹 人事財政班長

（建設課建設水道班長）

▽主幹・防災専門官・任期付職員

高野 正己

総務班

▽主任 佐藤 尚史

総務班

▽主任 相馬 翔

（住民税務課住民環境班）

▽主事 大沼 明

総務班（新採用）

▽主事 井手 基之

（再任用・任期更新）

■地域政策課

▽主事 井手 基之

交流・定住班インバウンド担当

※株式会社九州（ ）から

出向

▽参事 小玉 優太

地域振興班渡邊邸活性化担当

※株式会社ピーエイから

出向

▽参事 石川 利一

地域振興班地域活性化担当

※アバナード株式会社から

出向

▽主幹 地域振興班長

石田 友和

（総務課人事財政班長）

▽主幹 交流・定住班長

須貝 克幸

（総務課総務班・副主幹）

▽主査 小島 盛康

地域振興班

（健康福祉課福祉保険班・主任）

▽主任 長谷川 健太

（交流・定住班・主事）

▽主事 長野 陽成

地域振興班（新採用）

▽臨時的任用職員

竹腰 裕司

交流・定住班

■脱炭素推進室

▽主任 田村 美樹

（脱炭素推進室・主事）

■会計室

▽会計管理者 渡辺 一洋

兼・住民税務課長

▽専門員・任期付職員

（教育課生涯学習班長）

▽主幹 佐藤 充代

（再任用）

▽課長 渡辺 一洋

兼・会計管理者

▽主幹 住民環境班長

相馬 清子

（地域政策課交流・定住班長）

▽主任 佐藤 義矩

税務班

（教育課学校教育班）

▽主任 横山 寛介

住民環境班

▽主事 井上 祐希

（税務班・主事）

▽主事 高橋 紫依菜

住民環境班（新採用）

（健康福祉課）

▽課長 田村 清洋

兼・地域包括支援センター長

（住民税務課長・会計管理者）

▽主幹 介護・高齢福祉班長

船山 豊

（介護・高齢福祉班・副主幹）

▽主幹 佐藤 恵子

介護・高齢福祉班

（参事、介護・高齢福祉班長、役職定年）

▽主幹社会福祉士

宮下 美知子

介護・高齢福祉班

（副主幹社会福祉士）

▽主査保健師

川村 華子

健康推進班

▽主事 友坂 彩花

（主任保健師）

▽主事 横山 群

福祉保険班

▽主事 横山 群

福祉保険班（新採用）

▽臨時的任用職員

平田 薫

健康推進班

■関川なないろ保育園

▽園長・再任用

伊藤 厚子

▽主査保育士 柳川 茜

（主任保育士）

▽主任保健師 稲家 由夏

（保育士）

▽調理師 山口 明美

（再任用・任期更新）

■農林課

▽課長 富樫 吉栄

兼・農業委員会事務局長

（建設課長）

▽主幹 地域林政アドバイザー

・任期付職員

阿部 一好

（※4月2日付）

▽主事 小島 愛規

農政企画班

（建設課建設水道班）

■建設課

▽課長 渡邊 隆久

（農林課長、兼・農業委員会事務局長）

▽主幹 建設水道班長

佐藤 信一

（建設水道班・副主幹）

▽副主幹 野沢 茜

建設水道班

▽主任 星 拓也

建設水道班

（議会議事務局）

▽主事 井上 麻央

建設水道班（新採用）

■教育課

▽主幹 生涯学習班長

渡邊 輝章

（地域政策課地域振興班長）

▽主任 鈴木 恭

学校教育班

（地域振興課地域振興班）

■関川小学校

▽学校管理士 高井 新二

（再任用・任期更新）

川北線・女川線 コミュニティバスとして運行

◆4月1日運行開始◆

- ・路線バスは令和7年4月からコミュニティバスとして川北線、女川線の2路線を運行します。
- ・片道運賃は大人100円で、中学生以下などは無料です。
- ・その他の路線（村上線、坂町線、霧出線、鯉江沢線、七ヶ谷線、鷹ノ巣線）は令和7年3月いっばいで廃止となりました。
- ・廃止路線については、デマンドタクシーを拡充しますのでどうぞ利用ください。⇒18・19ページに「えぶり号」関連記事を掲載しています。そちらもご覧ください。

運行ルート 川北線、女川線

運行日 月曜から金曜
(年末年始、12/29～1/3は運行しません)

片道運賃

大人（高校生以上）	100円
①未就学児、②小学生、③中学生、④障害者手帳等（身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳）をお持ちの方とその付添い1人	無料

※時刻表は役場備え付けのチラシまたは村ホームページでご確認ください。

問い合わせ先

新潟交通観光バス株式会社 村上営業所 TEL 0254-53-4161
役場地域政策課 地域振興班 TEL 0254-64-1478

特殊詐欺対策電話機等 購入を補助します

振り込め詐欺等の特殊詐欺対策として、録音機能等がある電話機を購入する費用の一部を補助します。

○ 補助対象の機器 ○

令和7年4月1日以降に補助対象者が購入した、自動録音機能等を備える機器

○ 補助の対象者 ○

- (1) 関川村内に住民登録があり、実際に居住している人
- (2) 申請時点で65歳以上の単独世帯者又は申請時点で65歳以上の者と同居する人
- (3) 関川村暴力団排除条例に該当する人物ではない人

○ 補助金の上限額 ○

- (1) 電話機本体 10,000円
- (2) 外付け機器 5,000円

○ 申込先 ○ 関川村役場2階 総務課総務班

○ 問い合わせ ○ 関川村役場総務課総務班
☎ 64-1476

■ 関川中学校

▽ 学校管理士 伊藤 敏

(再任用・任期更新)

■ 共同調理場

▽ 調理師・再任用

中束 美和子

■ 議会事務局

▽ 事務局長 河内 信幸

(再任用・任期更新)

▽ 主幹 小池 由美子

(住民税務課住民環境班長)

【退職】 (3月31日付)

▽ 主査 石栗 孝子

(住民税務課住民環境班)

▽ 主任看護師 佐藤 大将

(関川診療所)

▽ 臨時的任用職員

今道 なつみ

(地域政策課地域振興班・任期満了)

学校教職員

※()内は新任校又は前任校

■ 関川小学校

【転出】

▽ 校長 須貝 学

(役職定年・再任用、村上市金屋小学校教諭)

▽ 教諭 樋熊 沙穂

(弥彦村弥彦小学校)

▽ 教諭 小川 聡子

(新潟市紫竹山小学校)

▽ 教諭 近 怜子

(燕市分水小学校)

▽ 養護教諭 木村 資子

(村上市岩船小学校)

▽ 栄養教諭 佐藤 里恵

(村上市岩船小学校)

【転入】

▽ 校長 伊藤 彰

(新潟県少年自然の家)

▽ 教諭 渡辺 展生

(村上市朝日みどり小学校)

▽ 教諭 小柳 輝

(村上市村上南小学校)

▽ 養護教諭 平田 美香

(村上市岩船小学校)

▽ 栄養教諭 中川 拓哉

(県立五泉特別支援学校)

【新採用】

▽ 教諭 前田 七海

▽ 教諭 奥村 某由

■ 関川中学校

【転出】

▽ 教諭 佐藤 智之

(村上市村上東中学校)

▽ 教諭 伴田 寛明

(村上市神林中学校)

▽ 教諭 兼田 朋廣

(村上市荒川中学校)

▽ 教諭 長谷川 某衣

(村上市朝日中学校)

【転入】

▽ 教諭 木島 靖人

(新発田市東中学校)

▽ 教諭 青木 大和

▽ 教諭 後藤 明日子



鈴木 弘さん 元気に100歳の誕生日

下関の鈴木 弘さんが2月28日に100歳の誕生日を迎えられました。鈴木さんは大正14年、1925年の生まれです。

この日、加藤弘村長が鈴木さん宅を訪れ、表彰状と記念品代を贈りました。

鈴木さんは永年、渡邊邸の石置木羽葺き（こばぶき）屋根の管理に携わってこられました。この道に入ったのは14歳のときだとか。渡邊邸だけでなく、木羽葺き、こけら葺き、檜皮葺き（ひわだぶき）の職人として北海道から山口県まで、全国各地で屋根の修復などにも携わってこられたそうです。

これからもお元気で!!



にゃん吉・せきかわ健康ポイント 6人にWチャンス賞

健康づくりの取り組み、健診や健康に関するイベントなどに参加するとポイントがもらえ、6ポイントで好きな景品と交換できる「にゃん吉・せきかわ健康ポイント」事業。

今年度から健康づくりに継続して取り組めるよう、6ポイント集

まると共に景品と交換でき、取り組んだだけWチャンスの当選確率が上がるように内容を変更し、皆さんに取り組んでいただきました。

1年間で132人が参加し、のべ交換回数は285回でした。

参加者の中から抽選で、「Wチャンス賞」が6人に贈られました。
(敬称略)

◇越後もち豚ロース肉500g

鈴木 キヌ子 (下 関)

津野 幸子 (下 関)

齋藤 文子 (上 関)

◇あらかわ生しいたけ

特大肉厚 500g

近 智江 (宮 前)

目黒 寿実子 (高 瀬)

大沼 よしえ (上土沢)



防災説明会開催

桂集落で・・・

3月8日(土)、桂集落の住民を対象とした防災説明会が公会堂で開催されました。参加者は19名でした。

高野防災専門員が桂地区の土砂災害、浸水害に関する特性や災害リスク、避難のタイミングと住民の避難行動などについて説明。

災害時は集落として、どのタイミングでどこへどのように避難すべきなのか、日頃から何を備えておかなければならないかなど、令和4年8月豪雨災害や昨年出水期での避難指示に基づく避難行動などの振り返りを含めた質疑応答・意見交換も行いました。

春の人事異動

続き・敬称略

村上市消防署関川分署

※()内は新任地又は旧任地

【転出】

▷分署長 佐藤 勇太
(消防本部第1防災安全室長)

▷副主任 高橋 俊篤
(荒川分署・主任)

▷消防副士長 志田 伸由
(神林分署・副主任)

▷副主任 玉木 大輔
(朝日分署)

▷副主任 大越 竜也
(山北分署)

▷消防副士長 横山 亮
(山北分署・副主任)

▷消防士 小田 有成
(朝日分署)

【転入】

▷分署長 川村 清
(消防本部予防課長)

▷主任 高橋 伸
(消防本部予防課・副主任)

▷副主任 笠間 亮治
(村上市消防署)

▷副主任 板垣 剛
(山北分署)

▷副主任 臼井 宏幸
(関川分署消防副士長・昇任)

▷消防副士長 山口 溪
(村上市消防署・消防士)

▷消防副士長 千葉 大貴
(神林分署)

▷消防士 高橋 涼太
(村上市消防署)



※関川分署に新しく配備された救急車です。2月17日から救急救命活動に運用されています。

学校からのお知らせ

今月は関川中学校からの紹介

【SOS御守りをいただきました】

2月14日（金）に、村の健康福祉課が独自に制作したSOS御守りをいただきました。当日は担当の方がパワーポイントを使って、困ったときは一人で悩まず相談すること、元気がない友だちへの接し方などについてご講話いただきました。その後、全員で御守りを作りました。御守りには相談先の連絡先が紹介されており、村にも相談することができます。困ったことがあったら気軽に相談してほしいと思います。



【卒業生の前途に幸あれ】

2月20日（木）に、卒業や受験を間近に控えた3年生に感謝の気持ち伝えるために、生徒会書記局が中心となって3年生のための激励会を実施しました。吹奏楽部の演奏や応援団による激励応援、そして階段アートのプレゼントと、短い時間ではありましたが、温かい雰囲気のおかげで3年生の前途をみんなでお祝いしました。



そして、3月4日（火）の第20回卒業証書授与式。多くのご来賓の皆様、保護者の皆様から参列をいただき、厳かな中にも温かい雰囲気の中で、卒業生30名の門出を祝うことができました。卒業生には、自分の可能性を広げるチャレンジを続けてほしいです。職員一同、応援しています。



村のわだい



日本のトップレベルから学ぼう!! せきかわ卓球教室 今年も開催

内山京子（うちやま きょうこ）さん、枝廣 愛（えだひろ まどか）さん、お二人をお招きしての「せきかわ卓球教室」が今年も、3月20日に村民会館アリーナで開催されました。

内山さんはオリンピックや世界選手権の出場経験もあり、枝廣さんも全日本学生選抜のシングルスで優勝経験があるなど、日本のトップレベルのお二人です。

参加者が行う試合形式の卓球台を回っての実技指導や、参加者とのエキシビジョンマッチなど、2時間にわたって熱い指導をしてくださいました。

昨年も参加した人が多くいて、「みんな、すごくまくなっている!!」と、内山さんからうれしいお言葉もいただきました。



佐藤萌加さん 新潟大学長賞受賞

令和7年新大全国書初大会で、佐藤萌加さん（当時関川中学校3年・安角）が特別賞の中でも最上位の新潟大学長賞を受賞しました。新潟大学長賞は、小・中・高校生の出品作からそれぞれ1点だけが選ばれるというものです。おめでとうございます。

3 坂町便（定時便）の利用

利用する際に予約は不要です。停留所でお待ください。

- ・ 路線バスの停留所を経由しながら坂町エリアへ向かいます。
 - ・ 定時便は1便が坂町着9:15で、2便が坂町着11:15です。
 - ・ 停留所と時刻は4の表を参照ください。
 - ・ 行先は乗車した後に運転員へお伝えください。
 - ・ 停留所でなく自宅へ向かいに来てほしい時は前日までに予約してください。
- ※ 停留所の時刻より早く出発することはありませんが、場合によっては、停留所に遅れて到着することがありますので、ご容赦ください。
- ※ 坂町便は定時便のほか予約便があります。3便が坂町着13:30で、4便が坂町着15:30です。

4 坂町便（定時便）の停留所と時刻

停 留 所	1便	2便
金 俣	8:15	10:15
大 石	8:16	10:16
大 石 入 口	8:17	10:17
安 角	8:19	10:19
久 保	8:20	10:20
蔵 田 島	8:21	10:21
上 川 口	8:22	10:22
下 川 口	8:23	10:23
雲 母 温 泉 前	8:24	10:24
雲 母	8:25	10:25
雲 母 温 泉 湯 元 前	8:26	10:26
上 関	8:27	10:27
道 の 駅 関 川	8:33	10:33
関 川 村 役 場 前	8:34	10:34
旧 下 関 営 業 所	8:36	10:36
下 関 商 工 会 前	8:37	10:37
辰 田 新	8:38	10:38
勝 蔵	8:39	10:39
橋 場	8:41	10:41
上土沢集落センター前	8:43	10:43
山 本	8:45	10:45
鉾 江 沢 入 口	8:46	10:46
上 土 沢	8:47	10:47
下 土 沢	8:48	10:48
大 島 駅 前	8:50	10:50
大 島	8:51	10:51
デイリーヤマザキ	8:55	10:55
坂 町 着	9:15	11:15
坂 町 発	9:25	11:25
村 内 自 宅 着	9:55	11:55

5 停車場

下関 エリア	関川診療所、佐藤内科小児科医院、せきかわ調剤薬局、関川ファミリー歯科阿部医院、松村歯科、コメリハード＆グリーン関川店
坂町 エリア	坂町駅、原信、アコス、荒川中央クリニック、佐野医院、上田眼科、県立坂町病院、前川歯科クリニック、加藤歯科クリニック

6 利用料金

	回数券	現金	障害者手帳をお持ちの方と 同伴者、小学生
村内便	1枚	500円	250円
坂町便	2枚	1,000円	500円

※同伴者1人につき未就学児は無料

回数券	10枚セット	3,000円	回数券は、えぶり号車内で 購入できます
	5枚セット	1,500円	

7 えぶり号の利用方法（予約便）

(1) 荒川タクシー（TEL0254-64-1042）へ利用したい日の前日18時までに連絡してください。
・ 利用する日、便、氏名、世帯主名、住所、降りる場所、帰り便の利用の有無をお伝えください。 ・ 村内にお住まいの方のほか、一時的に村内に滞在している方、村外の方もご利用いただけます。
(2) 当日は、えぶり号が自宅へ向かいますので、玄関前で待ってください。
※ 予約状況によっては時間が前後する場合がありますのでご容赦ください。 ※ 一番遠くの利用者の自宅を出発して、予約のあった利用者の自宅を結んで運行しますので、予約状況によっては時間が前後する場合がありますのでご容赦ください。

予約先 荒川タクシー TEL 0254-64-1042

《ご意見・問い合わせ》 役場地域政策課 地域振興班 TEL 0254-64-1478

関川村乗合タクシー えぶり号

R7.4.1時点

令和7年4月から路線バスの一部廃止に伴い
デマンドタクシーの内容を拡充します！

- ① 坂町便に予約不要の定時便を追加
- ② 坂町便を午前に1便追加
- ③ 運行日を各地区週3日から週5日に増加
- ④ 坂町の停車場所を追加（坂町駅、前川歯科クリニック、加藤歯科クリニック）

えぶり号は村内各地区の利用者の自宅等から下関または坂町へ運行する予約制乗合タクシーです。

1 各地区の運行日

全地区で月～金を毎日運行

地区	月	火	水	木	金
下関	○	○	○	○	○
四ヶ字	○	○	○	○	○
霧出	○	○	○	○	○
上関	○	○	○	○	○
七ヶ谷	○	○	○	○	○
九ヶ谷	○	○	○	○	○
湯沢	○	○	○	○	○
川北	○	○	○	○	○
女川	○	○	○	○	○

R7.4.1～の拡充

運休日 土日・祝日

年末年始(12/29～1/3)

2 運行時刻表

(1)村内便

便	行き（下関行）		帰り（自宅行）	
	自宅発	下関着	下関発	自宅着
1便	8:30	9:00	9:30	10:00
2便	10:00	10:30	10:30	11:00
3便	11:00	11:30	11:30	12:00
4便	12:00	12:30	12:30	13:00
5便	13:00	13:30	14:00	14:30
6便	15:00	15:30	15:30	16:00
7便	16:00	16:30		

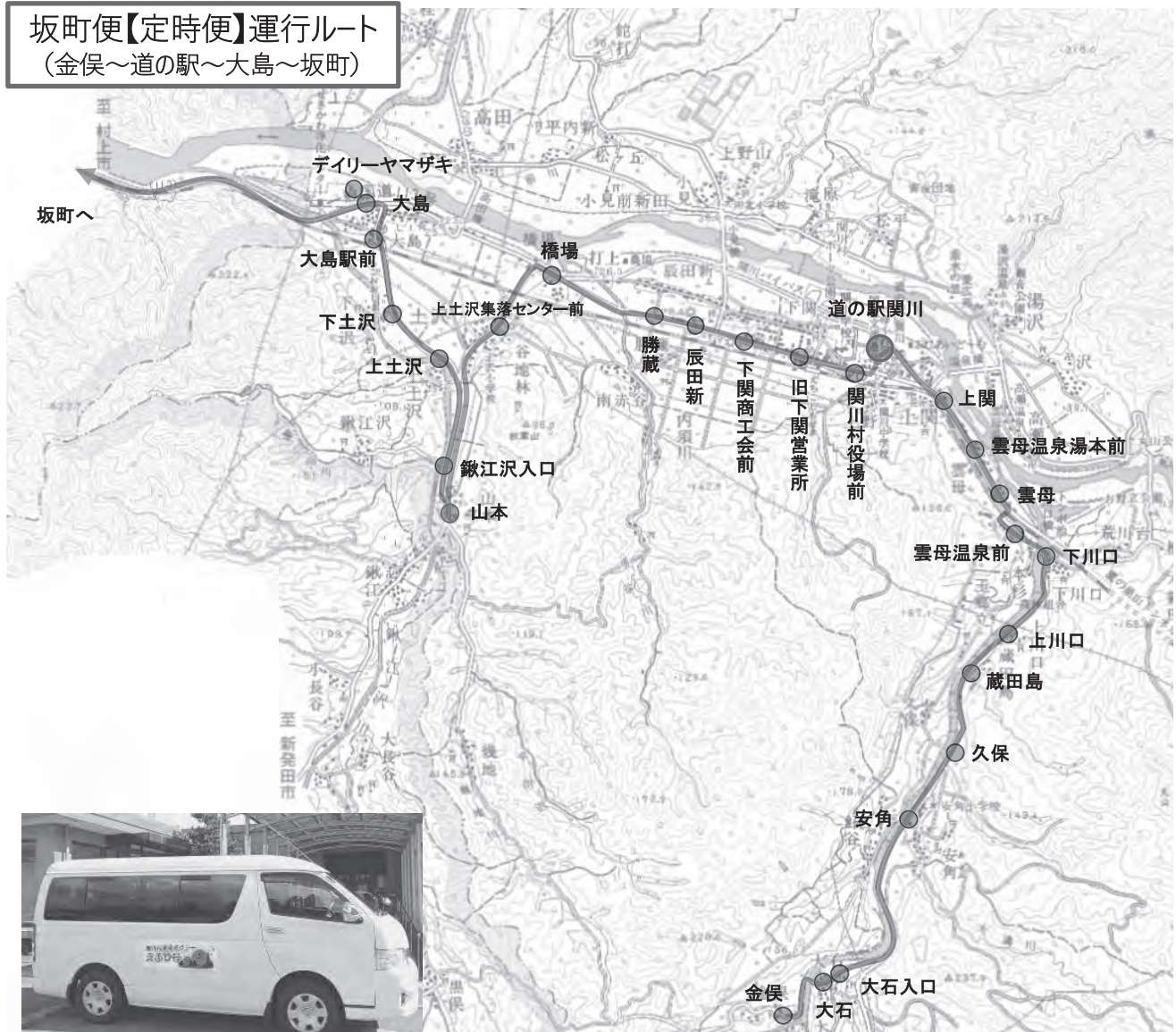
(2)坂町便（定時便）※定時便は予約不要です

便	行き（坂町行・停留所経由）			帰り（自宅行）	
	金保発	合流地点 道の駅	坂町着	坂町発	自宅着
1便	8:15	8:33	8:55	9:15	9:55
2便	10:15	10:33	10:55	11:15	11:55

(3)坂町便（予約便）

便	行き（坂町行）		帰り（自宅行）	
	自宅発	坂町着	坂町発	自宅
3便	12:30	13:30	13:40	14:20
4便	14:30	15:30	15:40	16:20

坂町便【定時便】運行ルート (金保～道の駅～大島～坂町)



住宅リフォーム補助金制度

村民の生活環境の向上を図るとともに村内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を促進するため、村内の施工業者によって個人住宅のリフォーム工事（改修・補修・修繕）を行う村民を対象に補助金を交付します。

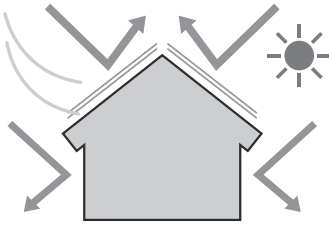
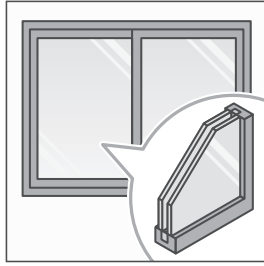
【補助の対象となる工事費】

補助対象額が20万円以上のリフォーム工事

【補助金の額】

補助対象額の20%に相当する金額で、上限額20万円

※リフォームを機会として下水道に接続（加入）する場合は、補助率を25%（上限25万円）に引き上げます。



※窓、外壁、屋根、天井または床等の断熱改修工事を行う場合は、断熱改修

工事部分の補助率を25%（上限は25万円）に引き上げます。

【補助対象の主な条件】

▽村に住所登録をしていること（Uターン予定者も条件を満たせば対象になります）

▽村内の施工業者が行うリフォーム工事であること

▽村税などを滞納していないこと

▽過去にこの補助金を利用された方も対象となりますが、2年連続でこの補助金は受けられません。

※補助金の交付決定通知前に着手した工事は、補助の対象になりません。

【補助対象とならない工事】

▽新築・増築工事

▽店舗や倉庫、車庫などの非居住部分

▽他の補助制度と重複する工事

●問い合わせ先

役場 建設課 建設水道班

☎（64）1479

空き家リフォーム補助金制度

村内の空き家の有効活用と移住・定住を促進するため、空き家・空き地バンクに登録された物件に加え、不動産会社の仲介物件として登録された空き家のリフォーム工事を行う方に対して最大200万円の補助金を交付します。

【補助の対象となる工事費】

補助対象額が20万円以上のリフォーム工事

【補助金の額】

補助対象額の50%に相当する額で、上限200万円

【補助対象者】

▽新しく空き家に居住する方

▽入居する方が決定している空き家の所有者（不動産会社を除く）

【補助対象物件】

空き家・空き地バンクに登録された物件または不動産会社の仲介物件として登録された空き家のうち、売買契約または賃貸借契約が成立した日から交付申請を行う日までの期間が1年未満のもの

【補助対象の主な条件】

▽空き家に入居する前にリフォームする方は、補助金の交付日から1年以内に入居（住民登録）し、かつ3年以上継続して空き家に居住すること

▽すでに空き家に入居（住民登録）している方は、補助金交付日から3年以上継続して空き家に居住すること

▽村内の施工業者が行うリフォーム工事であること

▽村税などを滞納していないこと

※補助金交付決定通知前に着手した工事は、補助対象になりません。

【補助対象とならない工事】

▽新築、増築工事

▽店舗や倉庫、車庫などの非居住部分

▽耐震改修など他の補助金制度と重複する工事

空き家活用のための家財道具等処分費補助金制度もあります！

【補助の対象】

空き家バンクに登録する物件の家財道具の搬出や処分、清掃に要する経費

【補助金の額】

補助対象額の2/3に相当する額で、上限20万円

※詳しくは、村のホームページをご覧ください。

●問い合わせ先

役場 地域政策課 交流・定住班

☎（64）1478

後期高齢者医療制度のお知らせ

令和7年度の保険料について

後期高齢者医療制度は、被保険者一人ひとりから保険料を納めていただき、ケガや病気になった方を、高齢者を含めた社会全体で支える制度です。

みなさんから納めていただく保険料は、みなさんがケガや病気をしたときの医療費などを支払うための大切な財源となります。

1 保険料の決まり方（年額）

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{年間保険料額} \\ \text{(限度額80万円)} \\ \text{100円未満切捨て} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{均等割額} \\ \text{1人当たり} \\ \text{44,200円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{所得割額} \\ \text{(令和6年中の総所得金額等－基礎控除額)} \\ \text{× 所得割率8.61\%} \\ \hline \end{array}$$

令和7年度の保険料額及び納付方法については、7月中旬に加入者の皆さまにお知らせします。

2 保険料の軽減について（申請手続きは不要です）

■均等割額の軽減

世帯の令和6年中（令和6年1月1日から令和6年12月31日まで）の所得状況に応じて「均等割額」が軽減されます。

軽減割合は、同一世帯の被保険者および世帯主（被保険者でない方も含む）の所得金額の合計により判定します。

■均等割額の軽減対象判定基準

同一世帯の被保険者と世帯主の前年の総所得金額等を合計した額	軽減後の均等割額	
43万円＋10万円×（給与所得者等 ^{*1} の数－1）以下の場合	7割軽減	13,260円／年
43万円＋30.5万円×世帯の被保険者数 ＋10万円×（給与所得者等 ^{*1} の数－1）以下の場合	5割軽減	22,100円／年
43万円＋56万円×世帯の被保険者数 ＋10万円×（給与所得者等 ^{*1} の数－1）以下の場合	2割軽減	35,630円／年

波線部の計算は、同一世帯の被保険者と世帯主に給与所得者等^{*1}が2人以上いる場合に計算します。

※ 1 給与所得者等とは

給与の収入額が55万円を超える方、または公的年金の収入額が
(給与と年金の両方に該当する場合は1人と数えます)

65歳未満で60万円を超える方
65歳以上で125万円を超える方

■制度加入前日において被用者保険の被扶養者であった方への軽減

会社の健康保険などの被用者保険の被扶養者で、制度加入の前日において保険料負担のなかった方は、保険料の「均等割額」は資格取得月から2年間のみ5割軽減され、「所得割額」はかかりません。軽減後の年間保険料額は22,100円です。

※上の表の「均等割額の軽減対象判定基準」に該当する場合は、7割軽減となります。

これらの内容に関するお問い合わせ先

新潟県後期高齢者医療広域連合 業務課 資格保険料係
関川村 健康福祉課 福祉保険班

電話 025-285-3222

電話 0254-64-1472

低栄養を予防しましょう

県立坂町病院 管理栄養士 齋藤 有紀

春の花が芽吹き始め、暖かさを感じられる季節になりましたが、体調はいかがでしょう？

風邪をひいたり、歯の具合が悪いなど、ちょっとしたきつかけから食事の量が減ると、体に必要なエネルギーと栄養素が不足し、低栄養になってしまいます。

低栄養が長引くと、やせて、貧血になったり感染症を起こしやすくなったりします。

また、体力の低下にもつながります。

低栄養の予防には、食事からバランスよく栄養を摂ることが大切です。

低栄養を予防する工夫

○1日3食、主食（ごはん、パンうどんなど）、主菜（魚、肉、卵、大豆製品など）副

菜（野菜、海藻、きのこなど）をそろえて、果物や乳製品をデザートや間食に加えると1日に必要なエネルギーと栄養素が、バランスよく摂れます。

調理が面倒、料理を作っても余ってしまう、などのお悩みがある方は、スーパーのおそうざいで食べたいものを、ちょうどいい量で選んでみてはいかがでしょう？

○食べ物が噛みにくい、むせる、飲み込みにくいなどの症状がある方は、煮る、蒸す、つぶす、うらごしをするなどの調理法で、やわらかくして食べるようにしましょう。

また、食べ物を一口大に切る、マヨネーズで和える、片栗粉やとろみ剤でとろみ

を付けるとむせにくくなります。

○食が細く、少ししか食べられない、やわらかい食事を用意するのが難しい、時間がない、などのお悩みがある方は栄養補助食品、レトルトのやわらか食品を利用してみましょう。

お近くのドラッグストアでお買い求めいただけます。お気軽にお試してみてください。

*このコーナーへのお問い合わせは、県立坂町病院へ。
☎62-3111



関川村包括支援センター通信 112

地域包括支援センター 役場庁舎内1階 ☎64-1473

重層的支援体制整備事業と

権利擁護体制

村は、令和6年度から地域共生社会※の実現を目指して、「重層的支援体制整備事業」を実施しています。

（3つの支援以外の事業も実施しています。）

この事業は、これまでの子ども・障害・高齢者・生活困窮者といった対象者の属性や、要介護・虐待・生活困窮といったリスクごとの制度では解決できないニーズに対応するための事業です。重層的支援体制整備事業は、支援機関・地域の関係者が断らずに相談を受け止め、つながり続ける支援体制を構築することをコンセプトとしており、3つの支援を一体的に実施しています。

※地域共生社会 高齢者介護、障害福祉、児童福祉、生活困窮者支援などの制度・分野の枠や、「支える側」、「支えられる側」という従来の関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らし、これといった包摂的な社会をいう。

※地域共生社会

「3つの支援」
1 属性を問わない相談支援（包括的に相談を受け止める等）
2 参加支援（社会とのつながりを作るための支援を行う等）
3 地域づくりに向けた支援（世代や属性を超えて交流で

る場や居場所を整備する等）

ふれあい福祉健康フェア開催

3月2日、村民会館アリーナを会場に開催された「ふれあい福祉健康フェア」。今年も大勢の皆さんに参加していただきました。

ステージイベントや、健康チェック、福祉関係団体の物販ブースなどを回り、福祉や健康について楽しく学ぶ機会になったでしょうか？



午後からは「ひきこもりフォーラム」が大ホールで開催され、「地域でみんなができること」をテーマにパネルディスカッションなどが行われました。

せきかわふるさとエネルギー(株)が公共施設に太陽光発電設備を設置

2050年の脱炭素社会実現に向け、せきかわふるさとエネルギー(株)が電源開発として、脱炭素先行地域づくり事業の補助金を活用し、公共施設に太陽光発電設備を設置しました。今回の整備は、PPAモデルと呼ばれるもので、せきかわふるさとエネルギー(株)が設備を所有し、発電した電力で施設の消費電力の一部をまかいます。これにより、年間約32トン(※)のCO2排出量を削減することができます。

※東北電力の排出係数を使用して算出。

▼村民会館



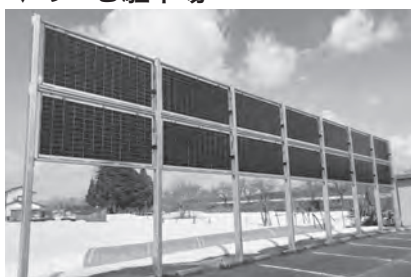
▼社会福祉センター駐車場



【垂直両面型パネルの特徴】

- 垂直なため雪が積もらない。
- 両面パネルにより地面からの反射光も利用可能。

▼の〜む駐車場



▼関川村上水道水源地



▼関川村広域簡易水道水源地



★脱炭素推進室 ☎ 75-5023



生涯学習

情報ステーション

広報せきかわ「お知らせ版」とあわせてご覧ください

◆お問い合わせは教育課へ
TEL 64-1491

吉光柑菜さん
伊藤 環さん
特選に!!

4人が準特選受賞
◆新潟県競書大会

令和6年度(第74回)新潟県競書大会で、関川小学校から特選に2人、準特選に4人が選ばれました。
特選に選ばれたのは吉光柑菜さんと伊藤環さん。応募作品1,084点の中から、特別賞5点に次ぐ特選15点に選ばれたものです。



吉光 柑菜 (4年・下関)



伊藤 環 (4年・久保)

また、準特選に選ばれたのは写真右

から
伊藤美結さん(6年・中束)、
川鍋なおさん(4年・幾地)、
近 日瑚さん(4年・高田)、
伊藤 灯さん(1年・久保)の4人です。
おめでとございます。

※学年はいずれも競書大会当時のものです。



大会結果

*敬称略



村長杯バレーボール大会

- ◆期 日 3月16日
- ◆会 場 村民会館アリーナ
- ◆参加チーム数 16
トーナメント方式で...

- ◆成 績
- 優 勝 やとうご(雅) Jr
- 第2位 Z (ゼット)
- 第3位 Azure Force
Z 世代
- 敢闘賞 かわいいだけじゃだめですか?

⇒スポ少バレー6年生チーム

※敢闘賞は敗者による敢闘トーナメント戦によって決定

説明会を開催

せきかわ地域クラブ活動計画等

中学校の休日部活動の地域展開に伴うせきかわ地域クラブ活動の具体的な説明会が3月14日に村民会館大ホールで開催されました。

全体会では、基本方針の確認、会費、今後の予定等の説明があり、後半は各クラブに分かれて指導者を囲んでのミーティングでした。



いよいよ4月から新しい形のスポーツ活動が始まります。
なお、「募集・案内」を集落回覧しますのでご覧ください。

荒川地区スポ少表彰式で

伊藤柚愛さんが優秀選手賞受賞

2月17日に開催された村上市荒川地区のスポーツ少年団表彰式で、関川村から空手の選手3人が表彰されました。

▽優秀選手賞 個人
伊藤 柚愛さん

▽敢闘賞 個人
石山 依里香さん

▽奨励賞
石山 玲依さん

(関川小学校1年・下川口)
おめでとございます。

「歴史とみちの館」所蔵・平田家文書を読む

（村歴史文化財調査委員 渡辺伸栄）

各漁場の境は、川上・川下とも、北々南の見通し線で区切っていました。

川上は福瀬川との境、川下は南が貝附村分木落平の上の力二沢と下の力二沢の中間④、北は高田村分不動沢の八間下のばん岩⑤、見通し線は南に下がる

川上は木戸川との境、川下は、北が宮前村分の伊勢松㉟、南は南南西方向㊟、見通し線は南に下がる

川上は雑貝川との境、川下は、北が高田村鍛冶屋敷の杉の木⑤、南は土沢村と大島村の境の曲り松⑥、見通し線は南に下がる

川上は巻目川との境、川下は、北が平内新村堤沢出口の先端㊿南は土沢道の北の境塚から少し西㊾、見通し線は真南

川上は荒山川との境、川下は北が平内新村上鉦打沢の出口の下の境塚①、南は赤谷村橋の上の岩清水②、見通し線は真南

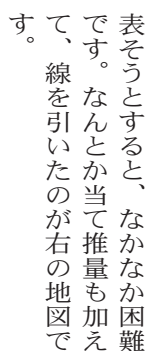
北が高田村分鉾打沢の東の先端
 ⑤、南は赤谷村牛頭天王の松④
 見通し線は南に上がる

川上は滝下川との境、川下は、北が小見村さいかい木(M)、南は赤谷村上内須川出口石仏大松(N)見通し線は南に上がる

川上は、下関村分やなせ川との境○、川下は、北が上野山村分引の沢の上の段の東の先端の境塚P、南は内須川の出口の大松Q(Nと同じ)、舟付川との境は小見村分川前くぼみ東の栗の木R、川上の見通し線は南に上る

川上の北は滝原村道下の二本松
 ⑤、南は下関村分の清水尻④、
 見通し線は南に下がる

さて、これを現在の地図上に



①の位置は、下関地籍の中島があつたのではとの推測です。

⑧は荒川左岸に小見の地籍があります。⑨は朴坂の北側の山が宮前地籍です。②には、女川の漁業権も含まれているのかもしれない。

村から離れた所の村地籍を「く村分」と言っているようです。国土地理院のWEB地図で地籍を見ることができます。詳しい説明は、左のQRコードで見てください。

現地の地名を知っている方なら、別な線を引くかもしれせん。興味のある方は、引いてみてください。

ともあれ、こんなふうにならば、
推量を楽しむのも古文書の楽し
み方の一つです。

原文と解説は歴史館に展示、又は、下のQRから



村民会館図書室

4月は、わくわくとドキドキが入り混じったちょっと忙しい月でもあるにや。
そんな時こそ本を片手にゆったりと「自分時間」を作ってみてほしいのにや。



『アルプス席の母』 早見 和真 著

秋山菜々子は、神奈川で看護師をしながら一人息子の航太郎を育てていた。航太郎は甲子園常連校を倒すことを夢見て、大阪の新興校に進学する。菜々子もまた息子の夢を応援するために大阪に拠点を移すことを決意するが…



山口 未桜 著

救急医・武田の元に搬送されてきた身元不明の溺死体は、なんと武田と瓜二つだった。彼はなぜ死んだのか、なぜ同じ顔をしているのか。旧友で医師の城崎と調査を始めるが、鍵を握る人物が密室内で死体となって発見される。

2025本屋大賞ノミネートの2作品です！ 大賞発表を待ちながら読んでみてはいかがでしょうか。



5 日 (土)、20 日 (日)

虹色と、汽車のメロディーが目印です♪

絵本の読み聞かせ

公民館図書室で開催！**無料です！**

10時30分～

ぜひご参加ください！
大人の参加も大歓迎です！

おはなしの木に花を咲かせてね!→



毎週水曜日がお休みです。平日13時～17時15分まで、土・日・祝9時～17時まで開館しています。



国際ボランティア学生協会
IVUSA 通信

◆春プロ参加者インタビュー

2月7日から10日まで、「おいし・どもんこまつり活性化活動」が開催され、約60名の学生が関川村に帰ってきました。学生たちは、お祭りの準備から当日の運営補助まで幅広く参加し、さらに村民の方々との交流も楽しめました。

今回の活動に参加した3名の学生にインタビューを行いましたので、ぜひご覧ください！

◆質問項目

- ①印象に残ったこと、楽しかったこと
- ②村民の方へメッセージ！

◎長谷川 流奈（はせがわるな） 東洋大学3年生

①子どもたちの、雪が降る中でも元気に遊んでいた様子が印象に残っています。一緒にな

ってお祭りを楽しむことができました！



②皆さんにまたお会いできることを楽しみにしています！プライベートでも遊びにいきます！

◎石原 菜凜（いしはらまりん） 東京家政大学2年生

①そびえ立つ巨大などもんこが圧巻でした。背丈を超える程に積もった雪の中に人生で初めて埋もれさせていただきました！



②こごえる寒さの中、暖かく迎え入れてくださりありがとうございました。また関川村に

帰ってきますね！その時はぜひ私から声をかけさせてください！

◎松崎 遙也（まつざきはるや） 国士舘大学1年生

①やはり、雪の多さに一番驚きました。今まで見たことないほどの高さまで雪が積もっており、とても迫力を感じました。また、班員だけでなく多くの人と協力して巨大どもんこを完成できたことに、とても達成感がありました。



②交流会では新たな関川の魅力について知ることができました。もっと関川について知りたくなりました。

今年もIVUSA学生をあたたく迎え入れてくださり、本当にありがとうございました。また関川村に帰ってきます！

荒川タクシーから受付時間短縮のお知らせ

令和7年4月から当面の間、月曜日から木曜日と日曜日のタクシーの受付時間を短縮します。

利用者の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

なお、18時以降に利用の予定がある方は、前日18時までに予約いただければ対応します。お手数ですが、事前予約をお願いします。

■月曜日～木曜日、日曜日 6時～18時

・18時以降に利用される場合は、前日18時までに予約ください。

※緊急時は、運転員の状況によっては、対応できる場合がありますので、確認ください。

■金曜日、土曜日 6時～24時（変更なし）

荒川タクシー 電話 0254-64-1042

七ヶ谷いきいき笑顔プロジェクト 谷人倶楽部

七里そば 春のそばまつり

1日100食限定、なくなり次第終了
事前予約の受け付けは致しません。
当日、会場で受付となります。

と き 4月26日 土曜日
4月27日 日曜日
4月29日 火曜日 ※祝日

※10時受付開始、11時開店となります。

と ころ 安角ふれあい自然の家（旧安角小学校）

メニュー 天ざるそばセット 1,200円

ざるそばセット 1,000円

※大盛 100円増

〔問い合わせ〕

谷人倶楽部 担当：加藤（幸）

（TEL）090-3203-6626

▲こちらは有料広告です

▲こちらは有料広告です

戸籍の窓

● 2月16日～3月15日までの届出 ●

お誕生おめでとうございます

穂 貴ちゃん(男) 高 瀬
佐藤 匠・美智さん

ごめい福をお祈りいたします

平田	一	さん	90歳	滝 原
平田	禄郎	さん	81歳	滝 原
高橋	イツ	さん	90歳	下 関
平田	ツイ	さん	88歳	滝 原
松田	順治	さん	83歳	山 本
伊藤	厚	さん	93歳	沼
伊東	ヤイ子	さん	83歳	下 関
須貝	又一	さん	72歳	湯 沢
佐藤	ヤイ	さん	89歳	朴 坂
小澤	榮治郎	さん	86歳	下 関

広報に載せてほしくない方は届出の際、窓口にお申し出ください。

人の動き

令和7年2月末現在 ()は前月対比

世 帯 数	1,809世帯(－4)
総 人 口	4,654 人(－14)
男	2,248 人(－8)
女	2,406 人(－6)
(転入 5人 転出 8人)	
(出生 0人 死亡 11人)	

編集室から

▶令和5年7月1日号から広報せきかわ本誌の編集を手伝わせてもらってきましたが、本号が最後になります。皆さんに満足していただける紙面づくりができたかという「？」です▶次号からは若いスタッフが担当するので、紙面もリフレッシュしてくれると思います▶1年10か月、ありがとうございました。(Mako.)

フォトギャラリー



3月4日に関川中学校で、24日には関川小学校で卒業式が挙行されました。

それぞれの想いを胸に学び舎を後にして、次のステップに羽ばたきました。

コメントなしの、卒業式のスナップです。

関川中学校



関川小学校



佐藤塾 新年度生徒募集

成績を上げたい人集まれ！英検合格！数検も合格！

中学生は水・金の週2回、高校生は毎週月曜日
テスト対策、模試、入試対策、夏冬講習で合格をつかめ！

申込時月謝決定システムだから早い申込がお得！

4月開校の「シン村上教室」も通塾可能！

お申込、お問い合わせは ☎64-0729 まで

▶こちらは有料広告です

あなたに直撃



加藤 与幸さん
(下関)

今回は、2月いっぱい3年間の地域おこし協力隊の任期を終えられた加藤与幸さんに登場していただきます。

この3年間、関川村の魅力を発信するために、写真・動画を活用したSNSでの情報発信に取り組んできました。

四季折々の風景や地域の伝統文化を記録し、多くの方々に村の魅力を伝えることに注力し、特にInstagramでは、美しい風景やイベントの様子を紹介することで関心を集め、効果的な情報拡散にもつながりました。こうした活動を進める中で、観光資源の活用方法や情報発信における課題が明確になり、今後の取り組みに向けた方向性が見えてきました。

これらの経験を踏まえ、関川村の観光資源をより効果的に発信し、訪れる人を増やすことが次の目標です。特に、地域の特色を活かした観光コンテンツの発信や、情報を一元化した発信体制の強化が必要です。例えば、伝統文化や食文化の魅力を深く伝えるとともに、訪問者が実際に体験できる取り組みを充実させることで、関心を深めてもらい、リピーターの獲得にもつなげることができると考えています。

可能性を現実のものとするため、今後も観光協会のホームページやInstagramを積極的に活用し、関川村の魅力を定期的に発信していきます。四季の風景やイベント情報を更新し、より多くの方々に関川村の素晴らしさを知っていただく機会を作っていきます。一度訪れた方々がまた戻ってきたいような魅力ある情報発信に取り組んでいきます。

なつり輝く☆せきかわっ子たち

vol.140



4年 横山 諒 (打上)



6年 須貝 奏 (高田)

第20回新潟教育アート展で奨励賞を受賞された皆さんの作品を紹介します。(学年は当時。敬称略。)



5年 中東 遙花 (蔵野)

わが家の人気者

すずか 涼花ちゃん(5歳)

渡邊 涼太さん 沙織さん(松平)



涼花は動物が大好きで、怖いもの知らず。動物園のアルパカにハグしたり、イモリを飼って手に乗せてみたり...！
毎日、涼花の「楽しそう！」「やってみたい！」に驚きと笑顔をもたらしています。
楽しい毎日をいつもありがとうございます！これからも大好きだよ♡